

（表）

平成29年2月8日

地域みんなでまちづくり会議活動報告書

地域みんなでまちづくり会議の内容について次のとおり報告します。

地 区 名	村山学園通学区域	報告者氏名	松下 君江
開催日時	平成２９年２月８日（水） 午後７時から８時１０分まで		
会 場	市民総合センター 集会室		
参 加 者	市長の出席（有・無） 市民１４名、地域担当職員３名 合計１７名（うち男性１１名 女性６名）		
（議題等）			
① 村山学園通学区域 地域みんなでまちづくり会議規約の制定について			
② 会長及び副会長の選出について			
③ 情報・意見交換会			
④ その他			
(1) 次回の検討事項について			
(2) 次回の開催日について			
（会議の内容）			
① 「村山学園通学区域 地域みんなでまちづくり会議規約」が原案のとおり採択された。			
② 会長：中西 悦夫氏、副会長：齊藤 イト子氏、田野倉 秀樹氏に決定した。			
③ 課題の抽出について（意見交換会）			
・ 村山学園では、小中一貫校となり７年目を迎えている。厳しいケースは親御さんに御理解がいただけない。第一義的な責任があるのに協力がもらえていない。			
・ 福祉まつりなどのイベントに中学生がボランティアで参加させてもらっている。少しでも地域のお役にたてればと思って参加させているが、子どもたちを育てていただく場にもなっている。			
・ 緑が丘は高齢化率が５０％を超えており、他団体と災害ボランティアセンターを作っている。団地にお住まいの方の対応を考えて行きたい。			
・ 障害者施設で働いているが、障害についてまだまだ理解されていないところがあるので、地域ぐるみで理解を高めることができればと思っている。			
・ 老人会では最低人数の確保に苦慮している。グランドゴルフ、カラオケ、輪投げなど企画しても会員さんの集まりが悪い。いい案があったら、提案してほしい。			
・ まちづくりに協力していくには、子どもたちへの指導がとても重要だと思われる。			
・ 自治会に若い人が加入してくれない。若い人たちを引き込む方法を議題としてほしい。また、役員の引き受け手がいなくて、困っている。			
・ 青少年の健全育成のために社会を明るくする運動など、取り組んでいる。			

（日本工業規格A列4番）

(裏)

・ 高齢化が進み、ひきこもっている高齢者もいると聞いている。体力作り・健康保持のために出かけるきっかけづくりなどに協力していきたい。						
・ これまで市職員としてさまざまな業務にあたってきたので、課題解決に少しでも協力したい。						
・ 市とのパイプ役としてお役に立ちたいので、よろしくお願いしたい。						
・ 現在自治会には加入していない。面倒臭いとかイメージが先行している。地域にもっと目を向けて行きたいと考えている。						
・ 団地の建替で子どもたちが安全に遊べる小さい広場がなくなっている。また、遊具もなくなってきていて、残念に感じている。						
・ 学校運営協議会の活動もあって、子どもたちの健全育成については以前に比べてよくなっていると感じている。						
・ 高齢者の買い物では、お店側のサポートが必要となっている。						
・ 自治会に入るといいよということを発信していきたい。						
・ 災害直後の３日間は自治会で対応しなくてはならないことがわかり、自治会では災害対策を来年度の活動の中心に考えている。						
④(1) 本日の欠席者からお話しを伺ってから、地域の検討課題を話し合う。						
(2) 平成２９年５月１０日（水）（午後７時から）						
(その他)						
・ 市長挨拶						
第１回会議の開催に先立ち、市長から冒頭の挨拶がありました。内容は次のとおりでした。						
先日、地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミットに出席したが、市役所職員も一緒にになって地域の課題や問題解決にあたっていくことが重要である。そこで、地域担当職員として、地域みんなでまちづくり会議に参画させるので、よろしくお願いしたい。今回三つの小学校区で地域みんなでまちづくり会議が立ち上がるとすべての小学校区に設置される形となる。皆さんの活発な御意見そして活動に期待したい旨のお話しがあった。						
(次回予定)						
日 時 平成２９年５月１０日（水） 午後７時から						
会 場 ふれあいセンター会議室						
議 題 等 本日の欠席者からお話しを伺ってから、地域の検討課題を話し合う。						
(地域担当職員)			(協働推進課)			(協働推進課処理欄)
班員	副班長	班長	担当	主査	課長	